



一生懸命

《学校教育目標》

「志を持ち 道を拓く生徒」

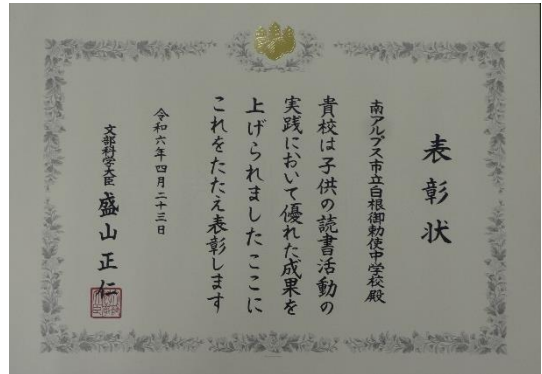
令和6年度
第2号(4月26日)

文責 校長 今村 洋仁

<http://www.midai.m-alps.ed.jp/> 白根御勅使中学校ホームページにも毎月掲載します。

◆白根御勅使中学校の読書活動が文部科学大臣表彰を受けました◆

白根御勅使中学校では、1年間を通して、様々な読書活動に取り組んでいます。毎朝、紅タイムと呼ばれる10分間の朝読書、図書委員会を中心とした図書委員おすすめの本の紹介・読書手帳・しおりの活用・桃源祭でのミダいの一行大賞、また、全校一斉読書や学年ごとに行われるおすすめ図書紹介のためのビブリオバトル、先生方のおすすめの本の紹介など様々な活動に取り組んでいます。本校のこれらの取組が高く評価され、子どもの読書活動優秀実践校に選ばれて山梨県の中学校の代表として、文部科学大臣表彰を受けました。表彰会場である東京の代々木のオリンピック記念センター大ホールには、すべての都道府県からそれぞれ小学校1校、中学校1校、関係団体（図書館・高校等）1団体が選ばれ、ステージ上で順番に表彰状をいただきました。これまで、生徒の皆さんが一生懸命に取り組んできた活動がこういう形で評価していただけたことは非常に名誉なことであり、今後の白根御勅使中学校の読書活動のより一層の発展につながると強く感じました。生徒の皆さん、本当におめでとうございました。今後もこうした様々な読書活動がさらに広がっていくことを期待しています。

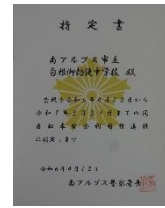


プロスタントマンによる交通安全教室

年度の始めに、南アルプス警察署と交通安全協会の方々が本校においでになり、交通安全教室を行っていただきました。プロのスタントによる自転車衝突実験や交通事故などの実演など、とても迫力があり、実際の事故だと思うととても恐ろしくなりました。また、道路に出ると、歩行者・自転車運転者・バイクの運転者・自動車運転者とそれぞれの立場で違った見え方になるということも学び、歩行者には見えていると思っ



でも自動車運転者にとって死角もあり、見えないということも出てきてしまいます。そういう意味でも道路を通行するときには、交通ルールを守ることに加えて、いろいろな立場の人たちの状況をイメージすることが大切だと強く感じました。普段から自転車を利用することが多い中学生にとって、交通安全について改めて考え直すとてもよい機会になったと思います。併せて、自転車安全利用推進校の指定書交付式が行われ、白根御勅使中学校が自転車の安全利用に関する推進校として、指定を受けました。他の学校の手本となれるよう、交通安全と交通ルールを意識した行動をとっていきましょう。そして、たった一つしかない命を大切に、自転車の安全利用を全校で心掛けていきましょう。



地震を想定した避難訓練

今年は元旦から能登半島地震が発生して甚大な被害を受けました。日本国中が地震の恐ろしさを再認識し、地震への備えや対応を急ぐ機運が高まってきています。今回の避難訓練は南海トラフ地震を含む大規模な揺れの大きい地震を想定して行われましたが、生徒たちの意識も年々向上しており、実際に起こりえるパニックを避けるため、防災頭巾を着用し、整然と行われました。避難訓練では生徒たちが自らの命を主体的に守ろうとする意識や友達の命を守ろうとする意識を持つことが大切です。いつ起こるかわからない災害に備え、今後もさらに意識を高めていってほしいと思います。



◆家庭訪問、ご協力ありがとうございました◆

4月下旬に午後4日間の日程で家庭訪問を実施しました。今年度は、少しでも早く生徒たちの様子を知り、保護者の皆様にお話をうかがうために、実施時期を昨年度よりも少し早めさせていただきました。新年度を迎えて1年生は全く新しい環境になり、2・3年生は学年がひとつ上がりクラスや担任の先生が変わる中で、生徒理解につなげるためにとてもよい機会となりました。家庭訪問では、生徒たちのご家庭での様子をうかがったり学校での様子をお話したり、自宅の場所を確認したり、通学路の危険箇所を確認したりと家庭訪問で多くの目的を達成することができ、とても有意義な4日間となりました。忙しい中、時間を作っていただき、本当にありがとうございました。これから生徒たちは中学校生活を送る中で、様々なことを体験するわけですが、うれしかったり楽しかったりすることがある反面、悩み事や心配事も出てくると思います。保護者の皆様と緊密に連携しながら情報共有を行っていきたいと考えております。どんなことでも結構ですので、気軽にご相談ください。よろしくお願いたします。

